



横浜市立市民病院

こころ

第15号

2015.12 発行

横浜市立市民病院だより

Contents

特集 がん患者さんをトータルで支援します ～がんセンターを設置しました～

- 災害対応総合訓練を実施しました
- みなさまの声のご紹介
- ホスピタリティ推進の具体的取組
- 市民病院再整備事業
- より身近な薬剤師へ
- 登録医療機関をご紹介します
- おすすめレシピ「長ネギのあたたかスープ」
- 病院長コラム

種名：アラビアオリックス（親子）
写真提供：公益財団法人 横浜市緑の協会

特 集

がん患者さんを トータルで支援します ～がんセンターを設置しました～

市民病院では、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療体制の強化・充実を図るとともに、がん登録情報の運用管理、がん検診から化学療法や放射線治療、緩和ケアまで、がん疾患に対する集学的な医療に取り組む組織として27年4月より「がんセンター」を設置しました。

がんセンターが目指すもの

日本人の2人に1人ががんになるといわれる一方で、近年では診断や治療技術は日進月歩の目覚ましい進歩が見られており、がんの生存率は上昇傾向にあります。

がんは早期に発見し、適切な治療につながれば完治している例もあります。市民病院では、検診センターを併設する総合病院の強みを活かし、がんの早期発見から治療につなげるとともに、がんを扱うすべての診療科、薬剤部、看護部、緩和ケアチームなどが有機的に連携し、それぞれの専門領域の知識を集約して、抗がん剤治療、手術、放射線治療など多くの選択肢がある中で、患者さんの状態に応じて、最適ながん治療を提供していきます。

さらに、相談支援体制の充実を図り、がん患者さんが安心して治療を受けられるよう、努めていきます。

がん診療の充実に向けて

市民病院では、18年8月に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、手術、放射線治療、化学療法

を効果的に組み合わせたチーム医療の推進や、緩和ケア病棟の運用など、患者さんの病態に応じた適切な医療を提供しています。また、地域におけるがん診療の拠点としての役割を果たすべく、がんの早期発見、早期治療に向けた専門的な治療体制を確立するとともに、セカンドオピニオン外来に加え、地域の医療機関向けの緩和ケア研修会、カンサーボード（診療科の枠を超えた院内の症例検討会）の実施等、院内の診療科の連携はもろろんのこと、地域に開かれた体制でがん診療を行っています。

さらに、5大がん（胃、肺、大腸、肝臓、乳腺）に加え、前立腺がんの地域連携パスを策定し、地域の医療機関との間の役割分担と治療経過、最終ゴール等の診療計画を共有することで、患者さんが地域に戻られても安心して医療を受けることができるように努めています。

なお、がん診療体制の充実に向けて、腫瘍内科の医師の増員による化学療法の実施体制の拡充や、放射線治療科の医師の増による強度変調放射線治療（IMRT）の開始を予定しています。

日本におけるがん診療の状況を
国で把握することにより、がんの
診断や治療・予防に役立てていく
ため、全国がん登録が始まります。

28年1月から全国がん登録 が始まります。



市民病院でも地域（神奈川県）や
国のがん対策に協力することを目
的として、院内がん登録を行って
います。院内がん登録では、診療
記録などから得られる情報をもと
に、がんの部位や治療内容（手術、
抗がん剤、放射線治療など）、生
存期間などの情報を登録しており
ます。院内がん登録の統計情報は、
当院ホームページからもご覧にな
ることができます。

がん検診を受ける市民の方 を増やしたい

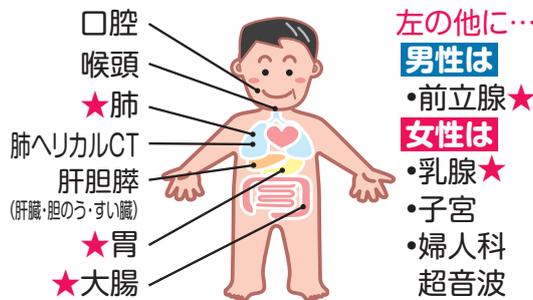
がんは、早期の場合には無症状
のことが多く、症状が出た時には
進行している場合があります。が
ん検診は無症状の方々を対象に検
査を行い、がんを早期に発見し適
切に治療することにより、がんで
亡くなる方の数を減少させること
を目的としています。

がん検診センターでは、横浜市
が実施するがん検診項目（胃、肺、
大腸、乳腺、子宮、前立腺）に加え、
喉頭・咽頭、口腔、肝胆膵等の検
診を独自に行っています。

また、がん検診の普及啓発に向
けた講演会を開催するほか、小
さなお子様がいることで検診を受

診しづらいというお母さんのため
に、預かり保育を実施する等、検
診を受けやすくする取り組みも進
めています。
健康でも1年に1回、検診を受
けましょう。
そして「早期発見・早期治療」。
早く発見できれば、身体への負担
も少ない治療もできるのです。

がん検診センターで実施している検診



★は横浜市がん検診となります（横浜市民対象）

がん患者さんを支えるために

診断治療技術の向上により、が
んにかかった後の生存率も向上し
ていますが、実際にがんになって
しまうと、今後の治療や生活に対
する大きな不安が生じてしまいま
す。

このため、病院内にがん相談支
援センターを設置し、がんに関す
る様々な相談をはじめ、病気に伴
って生じる諸問題や悩み事など
について、患者さんやご家族のお気
持ちに寄り添いながら、専門の看
護師がお話をうかがいます。

また、25年度からはハローワー
ク横浜と、27年7月からは社会保
険労務士と連携した、就職・就労
に関する相談に応じています。
個人情報など秘密は厳守いたし
ます。お気軽にご利用ください。

予約専用電話

045-333-1581

【受付】月～金 午前9時～午後4時45分
（祝日は除く）

インターネット予約

市民病院ホームページから

横浜市立市民病院 がん検診

検索

病院正面玄関 がん検診予約受付コーナー

【受付】月～金 午前10時～正午
（祝日は除く）

相談時間は以下のとおりとなります。

・がん相談支援センター

【受付】月～金
午前9時～午後4時30分

・ハローワーク横浜による

就職支援相談
【受付】毎月第3木曜日
午後1時～午後5時

・社会保険労務士による

就労支援相談
【受付】毎月第1月曜日
午後1時～午後5時

災害対応総合訓練を実施しました

市民病院は、横浜市内に13か所ある災害拠点病院の1つとして、大規模災害発生時には重症患者の受け入れなど、医療救護活動の中心的な役割を担うこととなります。そうした役割を果たすために、大規模災害の発生を想定して被災患者の受け入れを行う、災害対応総合訓練を11月7日に実施しました。

患者の重症度に応じて診療の優先順位をつけるトリアージに始まり、患者の処置や搬送、検査・手術の決定、各病棟への受け入れまでを、実際に模擬患者をたてて行いました。

訓練当日は約100名の病院スタッフの参加に加え、今年度からの新たな試みとして、病院周辺の地元自治会の皆様に、模擬患者役としてご

参加いただきました。被災者役として病院内に入っただくことで、少しでも災害発生時の当院の取組をイメージしていただけたかと思えます。

訓練後の反省会では、地元住民の皆様から「搬送中に看護師が傍にいて声を掛けてくれて安心した」、「真剣に行われているのが伝わってきた」などのお声をいただけた一方で、「実際に災害が起きたときは患者も多く、もっと混乱するのではないか」、「雨天の場合の対応はどうするのか」などの、具体的なお意見・ご質問もいただきました。いただいたお声は、今後、当院における災害時医療への取組の参考とさせていただきます。



11月7日 災害対応総合訓練

この他にも、8月30日には厚木市立病院で行われた防災訓練「ビッグレスキューかながわ」に当院の災害派遣医療チーム（DMAT）が参加しました。また、9月1日には全国から合計10隊のDMATを院内へ受け入れるとともに広域

医療搬送を行う訓練など、精力的に訓練を実施しました。

これらの訓練を積み重ねながら、市民病院の災害対応体制の強化に一層努めていきます。



8月30日 ビッグレスキューかながわ



9月1日 広域医療搬送訓練

「みなさまの声」のご紹介

当院では、より良い病院づくりに努めるために、院内に投書箱を設置して、患者さんやご家族からのご意見やご要望を「みなさまの声」としてお寄せ頂いております。

そこで、このページでは、「みなさまの声」で頂いたご意見やご要望を紹介します。
平成 27 年 4 月 1 日から 10 月 31 日の間に 180 件頂きました。

患者さんやご家族からの意見と当院の対応・考え方を一部紹介します。



みなさまの声

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さい

Q 会計窓口で札の番号対応（ボイスコール）になってから、時間がかかります。

診察でも時間はかかるし、会計だけでも何とかならないものですか。

A 会計受付のボイスコールに関しては、患者さんに座ってお待ちいただくことを目的に導入いたしました。

立ってお並びいただいていたときよりも、時間がかかってしまう場合もございますが、現在、会計窓口の処理の流れや受付方法の改善に取り組んでおります。

Q 夜勤の方を含め、看護師の方々に本当にお世話して頂き感謝しています。地震の際も、即座に部屋に入ってきてくれて、医療器具を押さえてくれたり、本当にありがとうございました。

A 日頃から患者さんやご家族の方の立場を考え、看護を行うよう指導し努力しているところですが、今後も、患者さんやご家族の方が安心して入院していただけますように、心を込めたきめ細やかな対応に努めてまいります。

ホスピタリティ推進の 具体的取組

現在、当院では、患者さん、ご家族の気持ちに寄り添った「おもてなし」を職員自らが考えて行動することによって、患者さん・ご家族の満足度を高めることを目指して、ホスピタリティの推進を進めています。



その取組の一環として、院内職員による“あいさつ・清掃活動”を本年 9 月より 2 回、朝 8



時から実施しております。正面玄関から三ツ沢公園周辺を中心に清掃を行っているほか、玄関前では、来院された患者さんに笑顔であいさつするなど、職員一人ひとりが心のこもったホスピタリティを提供しており、来院された患者さんからもあいさつをいただいております。

今後とも、職員一丸となり、質の高いサービスの提供に努めてまいります。

● 市民病院再整備事業の進捗報告 ●

再整備事業の住民説明会を開催しました

10月16日(金)、17日(土)に、近隣住民の皆様を対象に、当院の再整備事業に関する説明会を行い、2日間で187名の方が参加されました。

説明会では、新病院の計画地や施設概要、配置、建物構成、スケジュール等について説明しました。

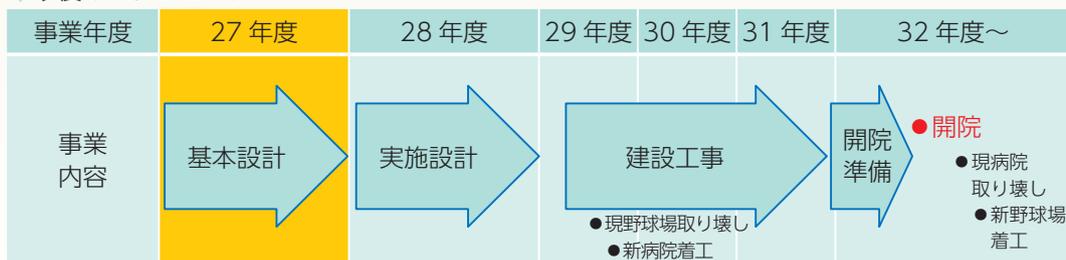
参加された方からは、医療機能の向上に関するご質問や、交通渋滞、バス路線の変更の有無など生活への影響等、さまざまなご意見をいただきました。



◆説明会当日の様子
(市民病院がん検診センター4階講堂)

病院の再整備事業を進めるにあたっては、いただいたご意見等を踏まえ、病院周辺の環境にも十分配慮しながら、地域の皆様に愛される病院づくりを目指します。

◆今後のスケジュール



再整備事業の進捗状況については、今後もこの「こころ」や市民病院のWEBページをとおしてお知らせしていきます。ぜひご意見等をお寄せください。

市民病院再整備事業のWEB ページへは で

● より身近な薬剤師へ ●

病棟薬剤業務を始めました

市民病院では7月から、薬剤師による、より患者さんに密接にかかわる業務(病棟薬剤業務)を開始しました。(一部病棟を除く)



「病棟薬剤業務」って?

入院された患者さんの自宅で使用していた薬の確認をはじめ、患者さんへの服薬説明を行います。患者さんの治療(状態)の把握を行い、総合的に薬物治療をサポートします。また、病棟にある薬が適切に管理、使用されているかを確認します。

● 入院時にお持ちいただいた薬(持参薬)や健康食品(サプリメント)を確認し、使用状況や合わなかった薬、アレルギーなどをお聞きし、医師に報告します。また、手術や化学療法、検査などで使用する薬の説明をします。

● お薬の飲み合わせに問題がないか、適切に使用されているかなどを確認します。必要に応じて、患者さんのもとへ説明に行きます。

● 医師や看護師に最新の薬の情報を伝え、有効かつ安全に薬が使えるよう協力します。

各病棟の掲示板に、担当薬剤師の名前が掲示されています。

気になることがございましたら、いつでもお声がけください。



旭区 イアソクリニック



院長 山路 千春先生と
スタッフの方々

【診療科目】 内科 リウマチ科 産婦人科

皮膚科 美容皮膚科 心療内科

| 診療科 | 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-------------|---|---|---|----|---|----|
| 内科 | 9:00～13:00 | ○ | ○ | ○ | ※1 | ○ | ○ |
| | 15:00～19:00 | ○ | ○ | ○ | ※1 | ○ | ※2 |
| 産婦人科 | 9:00～13:00 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| | 15:00～19:00 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ※2 |
| 皮膚科 | 9:30～13:00 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ※3 |
| | 15:00～19:00 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ※2 |
| 心療内科 | 9:00～14:30 | × | × | × | × | ○ | × |
| | 13:30～19:00 | × | × | × | ○ | × | × |

休診日：日曜日・祝日（午前/午後の受付時間は、各診療時間終了の30分前まで）

※1：木曜日→10:00～18:00 ※2：第2・第4土曜日午後→休診 ※3：第2土曜日→休診

当院は2008年横浜ココロット鶴ヶ峰にてスタートし、2014年4月地域の皆様に更に寄り添うクリニックを目指し現在の場所に移転しました。

通常は内科（内科一般、リウマチ、膠原病）、産婦人科、皮膚科の3名の医師が診察を行っており、心療内科の診察日も設けております。

複数の診療科で患者様の様々な症状に対応できるよう努めております。ご心配な事がございましたら私どもにご相談下さい。



〒241-0022
横浜市旭区鶴ヶ峰 1-27-3
電話：045-371-0050
URL：<http://www.cocoiaso.com/index.html>

旭区 松宮整形外科



院長 松宮 是哲先生

【診療科目】

整形外科

リハビリテーション科

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～11:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15:00～18:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |

休診日：日曜日・祝日 ※土曜日午後→14:00～16:00

当院は相鉄鶴ヶ峰駅前に昭和61年に開院しました。高齢者の増加に伴い変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症等に悩まされる方も多く、骨密度測定、動脈硬化検査等も行い、適切な診断、治療、リハビリテーションを行い生活の質の向上を目指して丁寧な説明を心掛けております。またスポーツドクターとして成長期のスポーツ障害の検診等を通じて現場に適した予防、指導を行っております。入院、手術、高度検査等、横浜市立市民病院と連携させて頂き、患者さんの時間的負担を出来るだけ軽減するようにしています。お悩みの方はお気軽にご相談ください。



〒241-0022
横浜市旭区鶴ヶ峰 2-23-7
電話：045-381-3888

長ネギのあたたかスープ

寒い季節に
心もからだもほっと一息

〔1人当たり栄養量：熱量178kcal、タンパク質4.4g、脂質7.6g、塩分1.5g〕

【材料】 2人分

| | | | |
|-------------------------|--------|---------------------|--------|
| 根深ネギ(長ネギ)の 白い部分…………… | 1本分80g | 顆粒鶏ガラスープの素 …………… | 小さじ1/4 |
| オリーブオイル… | 小さじ1 | 水…………… | 200cc |
| バター…………… | 5g | 牛乳…………… | 180cc |
| 塩…………… | 小さじ1/3 | 生姜のすりおろし… | 少々 |
| ご飯…………… | 80g | 青葱刻み…………… | 少々 |

♥ 風が冷たくなる季節、美味しそうなつやつやした白いネギが出回り、鍋や汁物に大活躍です。
ネギは独特の刺激臭と辛味を持つ硫化アリルを含み、消化液の分泌を促して食欲を増進したり、体温を高めてくれます。
「風邪のひき始めかしら？」という時にも、お勧めのスープです。
作りたてをお召し上がりください。

【作り方】

- ①ネギは小口切りにする。ご飯は水でさっと洗い水気をきる。
- ②ふたがぴったりしめる厚手の鍋に、オリーブオイルとバターを入れ弱火にかけ、小口切りにしたネギを入れる。
- ③塩小さじ1/3を入れ、ネギが焦げないように、時々かきまぜながら、ごく弱火で、ふたをして蒸し焼きにする。
- ④ネギがしんなりしてきたら、水、顆粒鶏ガラスープの素、ご飯を入れ、ことごと20分ほど煮込む。
- ⑤全体に軟らかく煮えたら牛乳を入れて混ぜ、味を確かめる。
- ⑥④をミキサーにかけ、なめらかになったら鍋にもどし温める。
- ⑦器によそい、上に生姜のすりおろしと青葱の刻みをのせる。



(栄養部 管理栄養士 井尻 玲子)

耳寄り情報！

ホームページでも健康レシピを掲載しています！
横浜の名店シェフと市民病院がコラボして、美味しくヘルシーなメニューを開発しました。あわせて栄養士のアドバイスとシェフのコラムも掲載しています。
是非ご覧ください。
アクセス方法：<http://yokohama-shiminhosp.jp/introduction/recipe.html>
もしくは、「横浜市立市民病院」→「病院のご紹介」→「健康レシピ」



病院長 コラム



病院長 石原 淳

12月に入って気管支炎、肺炎、胃腸炎の患者さんが増えてきました。手洗いやうがい、あるいはマスクの着用などを必要に応じて行い感染防止を心がけましょう。

さて、皆さんは「地域包括ケアシステム」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？少子高齢化が急速に進行する中で、それぞれの人ができるだけ自分らしい暮らしを続けることができるよう構築を進められている地域の包括的な支援・サービス提供体制です。そして、その体制を支える精神として自助・互助・共助・公助が提唱されています。いずれも重要な要素ですが、近所づきあいの少ない都市部において互助はなかなか求められないのが実情で、これからは自助の精神をより強く持つことが必要ではないかと思えます。

健康に暮らすために、あるいは今の状態を永く維持できるように、食生活を始めとする生活習慣に気を配り、検診を積極的に受けて頂きたいと思えます。